

学位論文及び審査結果の要旨

横浜国立大学

氏名	CHENG SWEETYEE
学位の種類	博士（工学）
学位記番号	都市博甲第2400号
学位授与年月日	2023年3月23日
学位授与の根拠	学位規則（昭和28年4月1日文部省令第9号）第4条第1項及び横浜国立大学学位規則第5条第1項
学府・専攻名	都市イノベーション学府 都市イノベーション専攻
学位論文題目	Research on methods of sustainable preservation and utilization of historical assets through regional revitalization - in the case of World Heritage Site Tajima Yahei Sericulture Farm and its buffer zone Sakai Shimamura
論文審査委員	主査 横浜国立大学 教授 大野 敏 横浜国立大学 教授 大原 一興 横浜国立大学 教授 高見沢 実 横浜国立大学 准教授 藤岡 泰寛 横浜国立大学 准教授 守田 正志

論文及び審査結果の要旨

本論文は、群馬県の世界遺産「富岡製糸場および絹産業遺産群」のうち、伊勢崎市境島村の特質に注目し、歴史的資産の持続可能な保存活用と地域活性化手法を考察した。

論文は5章構成である。

1章は研究目的と方法である。

2章は群馬県の世界遺産登録経緯を分析し、当初の候補資産10件が3件に厳選された半面、伊勢崎市境島村が最終段階で加わった状況に注目した。

3章は境島村の特質が先進的な養蚕住宅群にあり、伊勢崎市もその継承を基本に地域づくりを構想していたこと、その背景に蚕種の会（住民組織）の存在が大きかったことを示す。しかし世界遺産に直接関係したのは1件で、建造物群の継承による地域活性化は課題として残り、利根川と県境を含む複雑な地勢の中における世界遺産バッファゾーン設定も留意すべきと指摘した。

第4章は、上記課題に対し住民・行政・第三者機関の連携による問題解決手法に注目し、境島村における本学の調査研究活動の成果と課題を分析・整理した。

世界遺産に対しては、登録前後の維持修理や建築調査協力はじめ、行政の調査研究成果と連携した復元的研究を進めている。また、バッファゾーン内の養蚕建築に対する保存活用要望書提出に関与し、関係行政間の認識を高めた。

一方、住民意識調査を通して「養蚕住宅を知る機会が少ない」課題を把握し、建築解説冊子を作成し蚕種の会へ提供した。また、地域全体を見据えた歴史的建造物調査研究を継続し、成果の一部が登録有形文化財に反映され（現在6棟）、認知度が向上中である。

養蚕建築群の利活用による地域活性化の検討は、スタジオ演習で複数年実施してきた。今後は試行による実証実験が必要である。

以上の活動の結果、2020年に「境島村登録文化財保全活用推進協議会」が設立された。会報「推進通信」は、小学校との連携や地域各所との交流を取材・掲載する。2022年10月には調査研究と演習成果報告会開催に至った。そこには市長・教育長も参加し、建造物群の継承を基本とした地域づくりを念頭に活発な議論がなされた。

第5章は結論で、境島村は世界遺産と養蚕住宅群の双方の継承を両立させながら、地域活性化を目指す方向へ向かいつつある。そこに専門性を活かした継続的かつ多様な地域連携活動が寄与していることを示した。

以上のように本論文は、博士論文として十分な価値を持つ。

iThenticateによる確認の結果、著者論文や専門用語の他に重複はほぼなく、盗用や剽窃は認められない。

(試験の結果の要旨)

- ・令和5年2月7日(火)14時から建築学棟1階大会議室において公聴会を開催した。論文発表は40分間で、その後質疑を25分間行った。続いて令和5年2月7日15時05分より審査委員会を開催した。その結果、博士学位論文として十分な内容を有しており合格と判定した。修了に必要な単位は取得済みである。
- ・外国語の学力確認は、学位論文を英語で執筆していること、学位論文に係る既発表論文6篇のうち5編を英語で執筆し、残り1編は日本語で執筆していること、公聴会の発表は英語で行い、質疑は英語および日本語を併用して行ったこと、により英語および日本語の学力は十分であることを確認した。(母国語はマレー語で、英語・中国語・日本語に堪能である)
- ・学位取得に必要な対外発表論文は以下の6編である。
 - 1) Preservation and Revitalization of Sericulture-related Heritage Buildings in Gunma - In the case of Tajima Yahei Sericulture Farm and Takayama-sha Sericulture School. Cheng, S.Y.; Ono, S. 査読有, Proceedings of The Second International Conference on Built Heritage Studies: Built Heritage Conservation in Rural Vitalization. Shanghai, China, 409-424. 2019
 - 2) Value of Cultural Inheritance of World Heritage Site Tajima Yahei Sericulture Farm. Cheng, S.Y.; Ono, S. 査読有, Proceedings of the ICOMOS-CIAV 2019 Joint Annual Meeting & International Conference on Vernacular & Earthen Architecture towards Local Development. Pingyao, China, 76-83. 2019
 - 3) Evaluation of Management Plans Related to World Heritage Tomioka Silk Mill and The Silk Industry Heritage Group. Cheng, S.Y.; Ono, S.; Morita, M.; Sugeno, Y. 査読なし, FY2019 (90th) Japan Architectural Institute Kanto Branch Research Report II, 527-530. 2020
 - 4) Preservation and management of a World Heritage site Tajima Yahei Sericulture Farm and its buffer zone. Cheng, S.Y.; Ono, S. 査読有, Built Heritage, 4(13). 2020
 - 5) Shimamura as a Modern Sericulture Village and its State of Conservation. Cheng, S.Y. 査読有, Journal of Engineering Science and Technology, Special Issue on STAAUH(5), 104-119. 2022
 - 6) 「田島弥平旧宅新蚕室の平面と構造に関する復元考察」, Cheng Sweet Yee, 大野 敏, 査読有, 『日本建築学会技術報告集』28巻・70号 1551-1556 2020
- ・以上により最終試験は合格であると判定した。

注 論文及び審査結果の要旨欄に不足が生じる場合には、同欄の様式に準じ裏面又は別紙によること。